

令和 8 年度

登米市下水道事業会計当初予算の概要

	ページ
1. 令和 8 年度下水道事業の主要事業及び予算について	3
2. 資本的支出財源内訳表	9

宮城県登米市

1. 令和8年度下水道事業の主要事業及び予算について

1 事業運営方針

下水道事業は、近年の人口減少や節水機器の普及による水需要の低迷に伴う下水道使用料収入の減少、物価・人件費の上昇による維持管理費の高騰、施設の老朽化に伴う更新需要の増加など、経営状況は厳しさを増しております。

こうした厳しい状況のなか、上下水道事業の基本理念と長期的に取り組むべき経営課題に対する施策等を示すため、本市上下水道事業における最上位計画となる「登米市上下水道事業ビジョン」を令和7年度において策定し、効率的な事業運営による健全な経営の確立、持続可能な下水道事業の実現に努め、また、令和5年度から令和8年度までを算定期間とした現行の使用料体系について、これまでの総括を行うとともに、今後の適切な使用料水準、使用料体系のあり方について検討してまいります。

令和8年度の主要事業につきましては、処理施設の適切な維持・修繕による長寿命化及び計画的な施設更新を進めるほか、広域化・共同化に係る取組として終末処理場統廃合詳細設計業務等に着手し、持続可能な経営に向け下水道事業の経営基盤の強化に努めます。

令和8年度登米市下水道事業会計の予算につきましては、処理場施設の長寿命化事業、終末処理場統廃合詳細設計業務等、主な建設改良事業として1,149,208千円を計上しております。

2 業務の予定量（予算第2条）

(1) 世帯数、水量

項 目	単位	令和6年度	令和7年度	令和8年度	前年度比較
水洗化世帯数	世帯	19,300	19,400	19,600	200
年間有収水量	m ³	4,552,000	4,578,000	4,519,000	△ 59,000
世帯有収水量（月毎）	m ³	19.65	19.66	19.21	△ 0.45

(2) 主な建設改良事業

(単位：千円)

項 目	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	前年度比較
管路整備事業	723,015	508,469	353,453	△ 155,016
処理場施設整備事業	589,408	811,212	795,755	△ 15,457
計	1,312,423	1,319,681	1,149,208	△ 170,473

※ 詳細は「7 主な建設改良工事、8 その他建設関連業務等」参照

3 収支の状況（予算第3条・第4条）

- (1) 予算規模 = 52 億 543 万 8 千円
 = 収益的支出（下水道事業費用）－減価償却費＋資本的支出

(単位：千円)

項 目	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	前年度比較
予算規模	5,120,276	5,215,483	5,205,438	△ 10,045
収益的支出	3,671,608	3,756,022	3,778,687	22,665
減価償却費	2,085,984	2,095,390	2,106,912	11,522
資本的支出	3,534,652	3,554,851	3,533,663	△ 21,188

- (2) 下水道事業収益は前年度比 957 万 8 千円増の 38 億 3,371 万 6 千円、下水道事業費用は前年度比 2,266 万 5 千円増の 37 億 7,868 万 7 千円です。
 資本的収入は前年度比 2,782 万 7 千円減の 25 億 7,291 万 6 千円、資本的支出は前年度比 2,118 万 8 千円減の 35 億 3,366 万 3 千円です。

- (3) 令和 8 年度下水道使用料

下水道使用料は、過去の実績を基に調定水量と単価等から算定しました。

整備の完了に伴う接続件数の増に対し、人口の減少や節水器具の普及、社会経済情勢の影響等により、使用水量は減となっています。

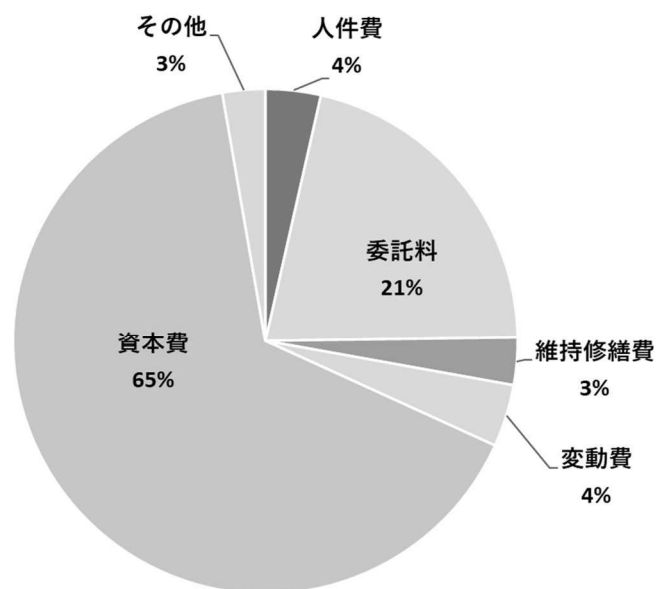
調定水量は前年度より 59,000 m³減の 4,519,000 m³とし、下水道使用料は 1,642 万 2 千円減の 10 億 5,132 万 6 千円を見込んでおります。

(4) 予定損益計算書における性質別費用分析

(単位：千円)

項 目	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	前年度比較
人件費	132,985	124,200	130,644	6,444
委託料	714,446	790,658	783,872	△ 6,786
維持修繕費	90,153	105,452	111,742	6,290
変動費	155,568	157,067	146,849	△ 10,218
資本費	2,392,348	2,384,083	2,415,591	31,508
その他	102,303	106,789	100,897	△ 5,892
計	3,587,803	3,668,249	3,689,595	21,346

令和 8 年度予定損益計算書性質別費用の内訳



性質別費用分析では、資本費（減価償却費、除却費、支払利息）が全体の 65%を占めています。また、人件費が 4 %、委託料が 21%を占め、業務の遂行にあたる人的費用が全体の 25%となっています。維持修繕費は 3 %となっています。変動費は動力費で、汚水処理等を行うための直接的経費です。汚水量の変動に関わらない費用（固定的経費）がほとんどを占めています。

4 企業債（予算第6条）

（単位：千円）

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	前年度比較
公共下水道事業	1,146,100	1,122,300	1,080,000	△ 42,300
農業集落排水事業	395,400	311,900	363,600	51,700
浄化槽整備事業	63,000	73,100	0	△ 73,100
計	1,604,500	1,507,300	1,443,600	△ 63,700

5 職員給与費（予算第9条）

(1) 職員数

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
① 決 算 値		21名	20名	20名（予算値）
うち	② 正規職員	19名	18名	18名
	③ 再任用職員	2名	1名	1名
	③ 会計年度任用職員	0名	1名	1名

※ 4月1日現在の状況

(2) 職員給与費 ： 1億7,262万6千円

項 目		単位	損益勘定	資本勘定	合 計	備考
特別職	人 数	人	10	0	10	・ 上下水道事業運営審議会
	報 酬	千円	183	0	183	
一般職	人 数	人	15	5	20	・ 手当には、賞与等引当金繰入額及び退職手当組合負担金並びに退職給付引当金繰入額を含む ・ 法定福利費には、賞与等引当金繰入額を含む
	給 料	千円	61,234	19,421	80,655	
	手 当	千円	48,716	15,822	64,538	
	法定福利費	千円	20,604	6,646	27,250	
	一般職 計	千円	130,554	41,889	172,443	
給与費合計		千円	130,737	41,889	172,626	

6 一般会計からの繰入（予算第10条ほか）

(1) 繰入金明細

（単位：千円）

項 目	A 負担金	B 補助金	C 出資金	D 合 計
公共下水道事業	25,303	384,758	213,074	623,135
特定環境保全公共下水道事業	9,261	401,400	203,829	614,490
農業集落排水事業	1,152	482,485	148,204	631,841
特定地域生活排水処理事業	0	144,905	12,144	157,049
個別排水処理事業	0	15,806	1,649	17,455
計	35,716	1,429,354	578,900	2,043,970

(2) 繰入金の推移

（単位：千円）

事 業 名	令和6年度	令和7年度	令和8年度	前年度比較
公共下水道事業	1,150,550	1,193,592	1,237,625	44,033
農業集落排水事業	551,059	597,775	631,841	34,066
浄化槽整備事業	156,358	171,770	174,504	2,734
計	1,857,967	1,963,137	2,043,970	80,833

7 主な建設改良工事

No.	事業名	目的	主な事業概要	金額 (千円)
1	污水管渠整備事業	公共用水域の水質保全と生活環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 迫町佐沼大網地区(2工区)污水管渠築造工事(公共) ・ 迫町佐沼梅ノ木地区污水管渠築造工事(公共) 	30,000
2	污水管渠更新事業	公共用水域の水質保全と生活環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中津山地区(機能強化)MP設備更新工事(農集) ・ 新高石地区(機能強化)MP設備更新工事(農集) ・ 小規模劣化設備更新工事(公共・特環・農集) 	182,990
3	処理場施設更新事業	污水处理と水質管理の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐沼環境浄化センター設備更新工事(公共) ・ 中津山地区(機能強化)設備更新工事(農集) ・ 畑岡地区(機能強化)設備更新工事(農集) ・ 小規模劣化設備更新工事(公共・特環・農集) 	676,120

8 その他建設関連業務等

No.	事業名	目的	主な事業概要	金額 (千円)
1	処理場施設統廃合事業	広域化・共同化による経費の縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 終末処理場統廃合詳細設計業務(石森・宝江・桜岡第二処理区) 	119,834
2	汚泥肥料化共同処理施設建設事業	広域化・共同化による経費の縮減	<ul style="list-style-type: none"> ・ みやぎ県北広域汚泥肥料化事業市町村負担金 	10,041

2. 資本的支出財源内訳表

(単位：千円)

事業名 (事業詳細)		令和7年度 当初予算額	令和8年度 当初予算額	左の財源内訳						
				A 企業債	B 国庫補助金	C 県補助金	D 出資金	E 分担金・負担金	F 基金取崩金	G 留保資金
1	資本的支出	3,554,851	3,533,663	1,443,600	376,743	131,885	578,900	19,208	22,580	960,747
2	建設改良費	1,333,038	1,168,697	610,000	376,743	131,000	500	12,913	0	37,541
3	管路整備費	508,469	353,453	217,700	59,917	66,125	0	2,032	0	7,679
4	(1)汚水管渠整備費	99,000	36,000	35,000	0	0	0	0	0	1,000
5	①工事請負費	85,000	30,000	30,000	0	0	0	0	0	0
6	②調査設計費	3,000	1,000	0	0	0	0	0	0	1,000
7	③補償費	11,000	5,000	5,000	0	0	0	0	0	0
8	(2)汚水管渠更新費	363,000	189,290	122,800	0	66,125	0	0	0	365
9	①工事請負費	354,000	182,990	119,500	0	63,250	0	0	0	240
10	②調査設計費	9,000	6,300	3,300	0	2,875	0	0	0	125
11	(3)処理場施設統廃合事業費	0	119,834	59,900	59,917	0	0	0	0	17
12	①調査設計費	0	119,834	59,900	59,917	0	0	0	0	17
13	(4)雨水排水路整備費	35,000	0	0	0	0	0	0	0	0
14	①工事請負費	35,000	0	0	0	0	0	0	0	0
15	(5)事務費(職員給与費)	9,786	6,593	0	0	0	0	2,032	0	4,561
16	(6)事務費(その他)	1,683	1,736	0	0	0	0	0	0	1,736
17	処理施設整備費	811,212	795,755	376,100	316,826	64,875	500	10,881	0	26,573
18	(1)処理場施設更新事業費	668,550	758,020	376,100	316,826	64,875	0	0	0	219
19	①工事請負費	613,050	676,120	335,000	279,026	62,000	0	0	0	94
20	②調査設計費	51,900	81,900	41,100	37,800	2,875	0	0	0	125
21	③用地購入費	3,600	0	0	0	0	0	0	0	0
22	(2)浄化槽整備事業費	108,010	0	0	0	0	0	0	0	0
23	①工事請負費	108,010	0	0	0	0	0	0	0	0
24	(3)事務費(職員給与費)	32,181	35,296	0	0	0	500	10,881	0	23,915
25	(4)事務費(その他)	2,471	2,439	0	0	0	0		0	2,439
26	流域下水道建設負担金	3,500	13,373	13,300	0	0	0	0	0	73
27	(1)迫川流域下水道建設事業市町村負担金	3,500	3,332	3,300	0	0	0	0	0	32
28	(2)みやぎ県北広域汚泥肥料化事業市町村負担金	0	10,041	10,000	0	0	0	0	0	41
29	管理施設整備費	9,857	6,116	2,900	0	0	0	0	0	3,216
30	(1)機器整備費	9,857	6,116	2,900	0	0	0	0	0	3,216
31	企業債償還金	2,220,757	2,364,026	833,600	0	0	578,400	6,295	22,580	923,151
32	建設改良	2,212,065	2,355,261	833,600	0	0	573,707	6,295	22,580	919,079
33	その他	8,692	8,765	0	0	0	4,693	0	0	4,072
34	基金積立金	1,056	940	0	0	885	0	0	0	55

